

森林・林業再生プランの推進



地球温暖化対策、生物多様性への対応



国内外の木材需要を踏まえた対応

②東日本大震災から 適切な森林施業の 推進します。 性保全への対応、 現に向けた取組を推進するとと 成など森林・ この推進、 地球温暖化対策や生物多様 路網の整備、 林業再生プランの実 確保、 山村の振興等を の復興に 施業集約 人材の育 向

定供給、 まちづくりを推進します。 用による環境負荷の少な 公共施設の再建に必要な木材の安 海岸部の保安林の再 木質バイオマス資源の活 生

東日本大震災の発生

平成23年3月11日、 東日本大震災が発生し、東 北地方を中心に人命や財 産に未曾有の被害があり ました。森林・林業関係で も、海岸部の保安林の被 災、木材加工施設の損壊な どの被害がありました。



節を変え



〈森林の機能と望ましい姿〉

水源涵養機能

水を蓄える隙間に 富んだ浸透・保水 能力の高い土壌を 有する森林



山地災害防止機能 / 土壌保全機能

樹木の根が深く広 く発達し土壌を保 持する能力に優れ た森林



快適環境形成機能

遮蔽能力や汚染物 質の吸着能力が高 く、諸被害への抵 抗性が高い森森



保健・レクリエー ション機能

身近な自然や自然 とのふれあいの場 として適切に管理 される森林



文化機能

史跡・名勝等と一 体となって潤いの ある自然景観等を 構成している森林



生物多様性保全機能

原生的な森林生態 系、希少な生物が生 育・生息する森林



木材等生産機能

木材として利用す る上で良好な樹木 で構成され、成長 量が高い森林

成

さ

n

林

が

相

に関

係

L

な

が か

5 b

発 構

n

る機 . る森:

能

であること

か

から、

原

生

的

生態系など属

地

性

 \mathcal{O}

あ

るも

0

牛

多

様

保全機能

は、

定

広

が

n

13

お 物

Vi

7

様 性

々な

生

育段階 互.

や樹

種 0

地 滴 Ш 0) 域 環境形成 地災害防 区域 13 の主な機能とし お を明 61

び 保全を推進 機能 上機 て、 5 発揮 など8つ か 能 を期 土 壌 0) 水源 待 保 機能を提 する機能 全機 涵 林 養 能 0 機 能ご 整 能 示。 快

■森林の有する多面的機能発揮に関する目標

	H22年	目標とする森林の状態			指向状態
	(現況)	H27年	H32年	H42年	(参考)
森林面積 (万 ha)					
育成単層林	1,030	1,030	1,020	1,000	660
育成複層林	100	120	140	200	680
天然生林	1,380	1,360	1,350	1,310	1,170
合 計	2,510	2,510	2,510	2,510	2,510
総蓄積 (百万 m³)	4,690	4,930	5,200	5,380	5,450
ha 当たり蓄積 (m³/ha)	187	196	207	214	217
総成長量 (百万 m³/年)	74	68	61	55	54
ha 当たり成長量 (m³/ha 年)	2.9	2.7	2.4	2.2	2.1

利林 と る 見込み。 占 0 び 見 総 10 め 0 利 需 通 年 る 万 国 m³ 要 用 後 量 量 平 を提 を 7, 産 0 玉 す 成 材 目 産 る 32 0 示。 標 材 8 割 年 0 0 総 合 L K 供 0 は 需 て

給 万 お

量 m³ け

3

量

50 要

%

用産 関の 供 給

(単位:百万m³)

標とする森林の状態を提示。

■木材供給量の目標 H21年 H27年 H32年 H42年 (目標) (目標) (参考) (実績) 木材供給量 18 39 28 50

木材等生産機 誘導を推進することと まえつつ 10 0 用 層 保 る 年後、 発揮を 林を を図 全機 た 育 能 め、 整 成 るとともに、 0) 能 20年後の 図 備 発 **%複層林** は、 X るため するなど 揮 域 が 設 属 特に Ħ 定 地 自 公益的 0 性 期 森林資源 然条件等 得さ 対 0 な 機 n

る育成

能

0)

層 利 単

O

循

環

を

踏

能針

た

め、

0

す

る多

面

的 0

機

0) と

発 す

揮 る

<u>ا</u>

林

産 森 産業等

物 林

0

供 有 事

給

及び

利

用

0

全、

林業

木材産

O

業活

動

等

指 保

林

所

有者等による

森林

 \mathcal{O}

整備

及び

目

を設定しまし

森林の有する多|

面的機能発揮.

に関する[

て、

は 機 地 除 き 能 球 な であ 環 61 X 境 域 設定 の対象とは な

710

象と VI

■木材の用途別利用量の目標と総需要量の見通し (単位: 百万m³)								
	利用量			総需要量				
用途区分	H21年	H27年	H32年	H21年	H27年	H32年		
	(実績)	(目標)	(目標)	(実績)	(見通し)	(見通し)		
製材用材	11	14	19	26	27	30		
パルプ・チップ用材	5	9	15	29	36	37		
合板用材	2	4	5	8	8	9		
その他	1	7	1	2	2	2		
合 計	18	28	39	65	72	78		

注1:用途別の利用量は、百万 m³単位で四捨五入している。

2:パルプ・チップ用材は、主に製紙用に利用されてきたが、平成32年の利用量の目標のうち、6百万 m³ はパーティクルボード等木質系材料としての利用や木質バイオマス発電等エネルギー源としての利用を 見込んでいる。

3: 「その他」とは、しいたけ原木、薪炭用材等である。

多様で健全な森林への誘導 国土保全等の推進 面的なまとまりをもった 森林経営の確立 効率的な森林整備 森林を支える山村の振興 製材・合板用材から 用材までの

揮の 有 関する施労の多面が 策的 機能

起施

整備等の施策を総合的 経営の確立、 進めていきます。 わたって持続的に発揮 面 林の有する多面的機能 的なまとまりをも 多様で健全な森林 かつ体系 った森林 させるた を将 的 0 来

実効性の高い 森林 計 画 制 度 0 普

④里山林など山

村固

有 0)

未利用

資

②適切な森林施業の 確

③路網整備の推進

(15)

都

の定住の促進

市と山村の交流等を通じた山の活用

源

⑤多様な森林への誘導と森林にお ④森林関連情報の収集・ ける生物多様性の保全 提供の推進

■地形等、作業区分に応じた路網の区分 林道

-般、ヤミトレーラの車両も想 定し安全施設を完備 森林施業に直結し10t積みト ラックの走行を想定した必要最 林業専用道 小限の構造 森林施業用に限定 フォワーダ等の林業機械の走行 森林作業道 を想定

160

面的なまとまりの下で森林経営を行う計画(森林経営計画)

① 野 (13)(11) $\widehat{10}$ (9) (8) ⑦公的な関与による森林整備 6)松く 地域特産物の振興等による山 保安林の適切な指定・ 地球温暖化対策及び適応策の推進 の就業機会の増大 果的な森林被害対策の推進 玉 優良種苗の の効果的な治山 生鳥獣の生息動向に応じた効 民の安全・安心の確保の い虫等の 確 病害虫防除対策等 事業の推進 管理の推進 ため 村

なの発持 展続 に的 関する施設かつ

づく ③低コストで効率的な作業システ ②施業集約化等の推進 要な人材の育成等を推進します。 フォ ① 効率的 あ る者 フォレスター 材 ムの整備・ 、効率的 レスターなど森林・林業に必 林経営計 かつ安定的な林業経営の の長期的な施業の委託、 な施業の実行、 普及及び定着 画の作成とこれに基 現場技能者等人



新たな高性能林業機械の開発



北海道鶴居地区の路網

等の需要拡大による木材利用 大を推進します。 住宅の木造・木質化や公共建築物 ①原木の安定供給体制の整備 効率的な加工・流通体制

確保に関する施林産物の供給及 策び利

の

の拡 ⑥消費者等の理解の醸成 ⑤東日本大震災からの ④木材等の輸出促進 3 2 住宅、 木材利用の拡大(公共建築物、 加 マスの利用等) た木材等の活用 土木用資材、 流通体制の整備 復興に向 木質バイオ け

の整備、



経営に関する施

国の森林・林業の再生に貢献します 術力・資源を活用して、 した民有林へのサポートなど我が するとともに、 公益重視の管理経営を一 人材育成をはじめと 国有林野の組織・技 林業技術 層推進

の開発普及、

再編整備に関する施策

森林組合の合併や経営基盤の強

個々の森林組合が施業集約化等に 針の実効性を確保するとともに、 営計画の作成を最優先の業務とし 認する仕組み・ルールを構築します。 最優先で取り組んでいることを確 て位置づけた森林組合系統運動方 に向けて指導を行っていきます。 遵守(コンプライアンス)意識の徹 底による業務執行体制の安定強化 施業集約化、 内部牽制機能の確保や法令等 合意形成、 森林経

9

③施策の進捗管理と評価の適切な活用 ②科学的かつ客観的な分析

施策の総合的な推進 体となった

努力していくことが重要です。の連携を図りつつ一体となってが、適切な役割分担の下、相互に関係する様々な組織や関係者 林及び林業に関 する施 相居者 林業 策 \mathcal{O}

国民視点に立った施策決定の実現

①国民の声の把握

点的な運 用

に取り組み、効果的中を行うとともに、 施を図ります。 目 的 13 · 応 じ 効果的な施 た施策 コスト 0) 選 紀択と 縮 0) 実減集

